

CASBEE® 京都-新築

標準システム

■使用評価マニュアル：CASBEE-京都-建築(新築)2018年版 | 使用評価ソフト：CASBEE-京都-新築2018 (v.1.0)

| 1-1 建物概要 | | 1-2 外観 | |
|----------|-------------------------|--------|--------------------|
| 建物名称 | (仮称)御池之町ホテル開発プロジェクト | 階数 | 地上10F |
| 建設地 | 京都市中京区室町通押小路下る御池之町314番 | 構造 | S造 |
| 用途地域 | 商業地域、準防火地域 | 平均居住人員 | 210 人 |
| 地域区分 | 6地域 | 年間使用時間 | 8,760 時間/年(想定値) |
| 建物用途 | ホテル | 評価の段階 | 実施設計段階評価 |
| 竣工年 | 2019年11月 予定 | 評価の実施日 | 2018年4月24日 |
| 敷地面積 | 471.51 m ² | 作成者 | 株式会社 東洋設計事務所 白井 大輔 |
| 建築面積 | 315.05 m ² | 確認日 | 2018年4月25日 |
| 延床面積 | 2,838.56 m ² | 確認者 | 株式会社 東洋設計事務所 白井 大輔 |



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.2

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.9

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア= 2.4

LR 環境負荷低減性

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.2

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.1

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.1

| 3 設計上の配慮事項 | | |
|--|--|--|
| 総合 内装材は全てF☆☆☆☆を使用するなど客室の環境に配慮している。 開口部を大きくとる事により、自然採光に配慮している。 | | その他 特になし |
| Q1 室内環境 内装材は全てF☆☆☆☆を使用。 | Q2 サービス性能 内装材には防汚性の高い材料を使用し維持管理の配慮をした。 | Q3 室外環境 (敷地内) 可能な限り緑地を配し、敷地内の環境にも配慮した。 |
| LR1 エネルギー BPI _m =0.87、BEI _m =0.80。LED照明、太陽光パネルの設置。 | LR2 資源・マテリアル 節水型トイレの使用。 | LR3 敷地外環境 光害の抑制に努めた。 |

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される